

◆五行歌

トンネルの先に…

トンネル

またトンネル

煩惱の数より多い百三十八

トンネルの先に

トンネルが待つ

錦秋の南信州

父なる赤石連峰が

さあ、おいで

と

両手広げる

言葉では

言い表せぬ

哀しみがある

ここは満蒙開拓平和記念館

元結作りは

快晴の日の仕事

風越山を背に

老職人の節くれだつた指

自在に和紙を扱う

アルビノの狸の鼻の

肌色に

秋の陽が照る

のほのぼと

飯田市営動物園

下平紀代子 (高32回)

●しもだいら・きよこ

松川町出身。未來短歌会所属。ペンネームはコバライチキコ。昨秋、初めて豊橋発急行ワイドビュー伊那路に乗り、阿智村、下條村から飯田まで、飯田線の旅をした。上京して37年。知っているようで知らない故郷の自然と人々の温かさを再確認。皆に宣伝するあまり、飯田へ行ってみたいという友人が急増中です。

募集!

『稲穂』第16号「文芸の広場」へのご投稿をお待ちしています!

短歌、俳句、川柳、五行歌他、お好きなジャンルでご投稿ください。テーマは「ふるさと」または自由。

それぞれ5首、または5句十プロファイルと作品に寄せて(150字)を添えてお送りください。

◆締め切り/2019年3月18日(月)

◆送付先/メール・郵送にて『稲穂』編集委員会(108ページ参照)まで。